

新狭山地区

新狭山駅南口周辺コース (三ツ木・沢・加佐志・青柳)

約 4 km

- ①新狭山駅南口→②東三ツ木薬師堂→③沢の八坂神社と雷電神社→④天岑寺→⑤八角堂→⑥羽黒神社→⑦加佐志の耳だれ地蔵→⑧青柳のせんちゃん地蔵→⑨氷川神社→⑩三ツ木原古戦場跡



③沢の八坂神社と雷電神社
八坂神社の祭礼は「沢の天王さま」と呼ばれ、毎年7月中旬に行われます。雷電神社は雷除けに祀ったと伝えられていますが、咳止めに靈験あらたかとも言われています。



④天岑寺
文禄3年(1594)に天海盛呑が開山したとされている。惣門は沖縄風の様式が漂う総ケヤキ造り。



⑤八角堂
平成23年11月に完成。安穩寺木との建立。座禅・修行道場として建設された。



②東三ツ木の薬師堂
薬師堂の本尊は木造薬師如来坐像で、14世紀に当地を開発した三ツ木国重の守護仏とされています。



⑩三ツ木原古戦場跡
三ツ木公園は常緑樹が生い茂り、憩いの場となっている。公園内には、三ツ木原古戦場の碑がある。



⑧青柳のせんちゃん地蔵
石橋供養塔として建てられたもの。この近くで茶店を営む「せん松」という名のおじいさんが、久保川の草刈りをしていたときに掘り起こしたため「せんちゃん地蔵」と呼ばれるようになったそうです。



⑦加佐志の耳だれ地蔵
元禄7年(1694)8月に造立。耳だれの病に御利益があると言われています。



⑨氷川神社
明治14年12月の再建以来、堀兼村(当時)の鎮守様として、今日まで代々にわたり崇められている。



⑥羽黒神社
伴蔵人平一俊の夢枕に羽黒権現が浮かんだことから、応永24年(1417)に建立されたもので、御神木の菩提樹は樹齢550年といわれています。6月頃黄色の小さな花が咲き、見上げると甘い香りが漂ってきます。10・11月頃になると球状の実が葉とともにくるくる回りながら落ちてくる様は風情があります。昭和48年(1972)狭山市指定天然記念物。